

飲まず、食わず、走らず

『43キロ』と言ったらマラソン・コース、それを『飲まず』、『食まず』、『走らず』歩き通そうという大会が3月14日（日）行なわれました。新宿中央公園から青梅市役所までの43キロで、自己の体力と忍耐力を計ろうというもの。この日、約500人の老若男女が参加、朝8時30分に新宿公園を出発、最初の10キロは全員一丸となって歩破しました。しかし、そのうち一人、二人と落伍者が続出、30キロ地点ではおよそ100人がグロッキー。

所かまわず、寝ころぶ者や『食わず』の規則を破り、みかんを手にする者も出る仕事。結局ゴールまで歩き通した人は半分以下、一着には午後2時30分ゴールに飛び込んだ、大正生まれの桐谷陽さん（46才）となり、前半快調だったヤンググループは後半すっかりバテてしまったようでした。

都知事選スタート

美濃部か秦野か、統一地方選挙最大の焦点、東京都知事選は、告示前すでに、火花を散らしていた。四兆円ビジョンを高らかにかかげて、革新から知事の座を奪還しようと意気ごむ秦野派は、二万人余の大集会を開催。歌手からテレビ・タレントまでかつぎ出し、客寄せに大童。佐藤総理が「秦野ビジョンの四兆円は自民党が引受けよう」と強力なバックアップの弁。受けてたつ美濃部派は「東京都知事は美濃部さん、秦野はやっぱり警察官」とやりかえす。

3月17日、18都道府県の知事選挙は告示され、統一地方選挙は幕をあけた。

告示早々、愛国党の赤尾敏^{タカヒロ}数寄屋橋付近で自民党の宣伝カーと激しいやりとり。

自民党「暴力をやめよう」

愛国党「お前たちこそ暴力だ、金権暴力だ」

自民党「警察は何をしている、逮捕しろ、つかまえろ」

愛国党「秦野が警察の親方だから選挙のはじめに、愛国党をひっぱったらちょうどいいだろう。わけのないこと
でいばるなこのバカ」

秦野か美濃部か、投票日は四月十一日。